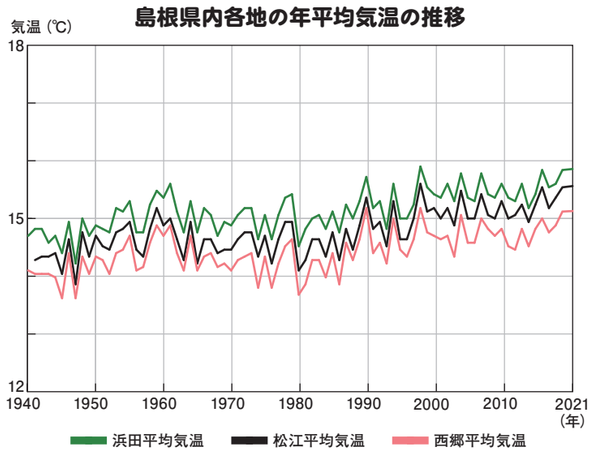
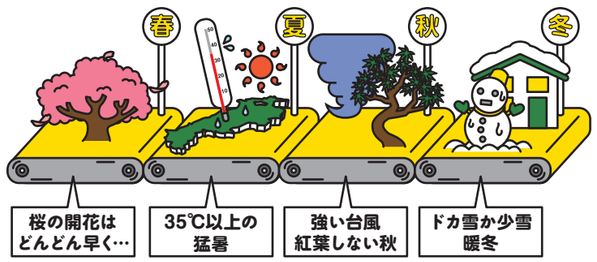
気候変動とわたしたちの暮らし

地球の表面は「大気」という空気の層で包まれています。

令和4年3月

気温が上昇する島根



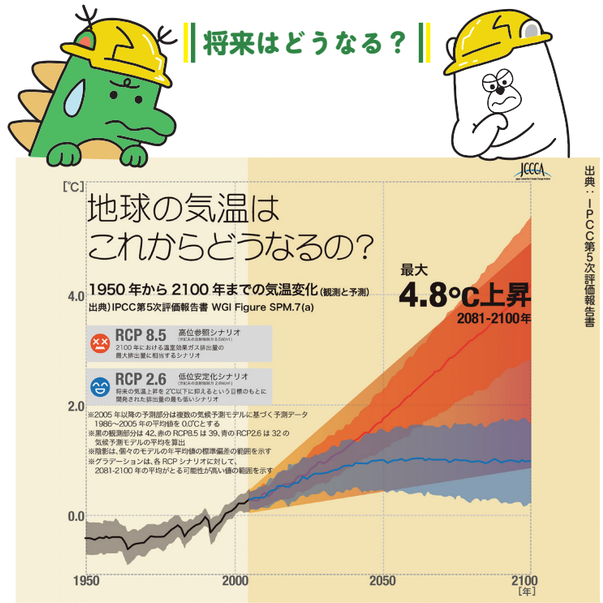


気候変動による影響

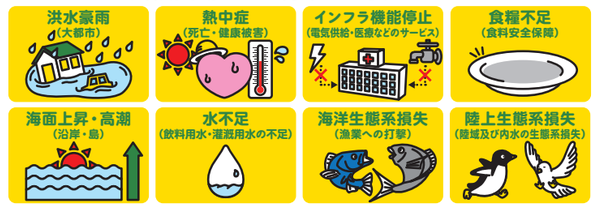
日本の気象と災害

年	県外・県内の災害状況	松江の最低気温25℃以上の日数
2012	平成24年7月九州北部豪雨	24日
2013	梅雨前線及び大気不安定による大雨（西日本～北日本の広い範囲） 8月23日から25日にかけての大雨（島根県で記録的な大雨）	27日
2014	台風第12号、第11号と前線における大雨と暴風 （平成26年8月豪雨　7月30日～8月26日）	10日
2015	梅雨前線及び台風第9号、第11号、第12号による大雨	16日
2016	台風第7号、第11号、第9号、第10号及び前線による大雨・暴風	17日
2017	梅雨前線及び台風第3号による大雨と暴風 （平成29年7月北九州北部豪雨）	22日
2018	前線及び台風第7号による大雨等（平成30年7月豪雨）	30日
2019	台風第19号による大雨、暴風等	28日
2020	令和2年7月豪雨（速報）※（西日本から東日本、東北地方の広い範囲で大雨） 台風第10号による暴風、大雨等（速報）	24日
2021	7月1日から3日の東海地方・関東地方南部を中心とした大雨（速報） 前線による大雨（速報）（西日本から東日本にかけての大雨）	13日

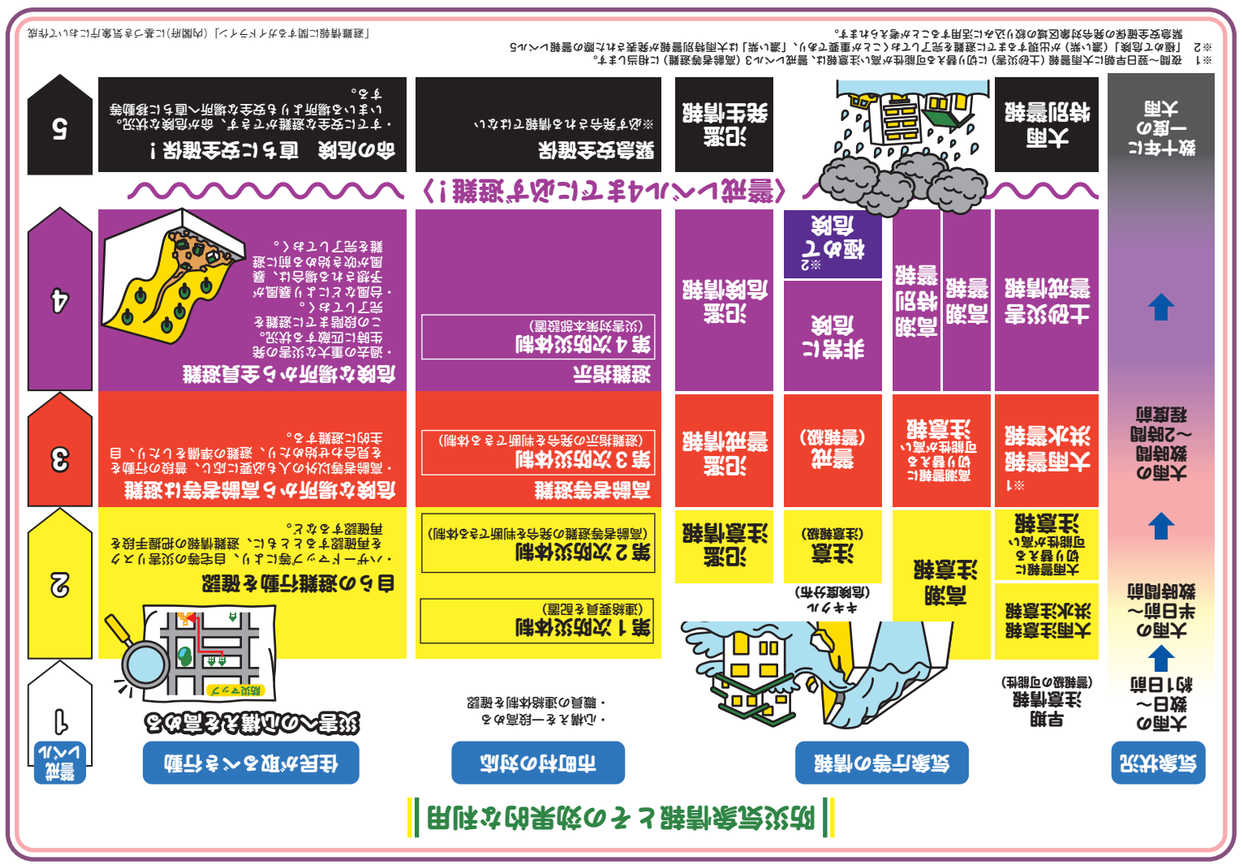
将来はどうなる？



気候変動による将来の主要なリスク



防災気象情報とその効果的な利用



※1　夜間～翌日早朝に大雨警報（土砂災害）に切り替えるか可能性が高い注意報は、警戒レベル3（高齢者等避難）に相当します。

※2　「極めて危険」（濃い紫）が出現するまでに避難を完了するのが、「濃い紫」は大雨特別警報の発表された際の警報レベル5緊急安全確保の発令対象区域の絞り込みに活用することが考えられます。

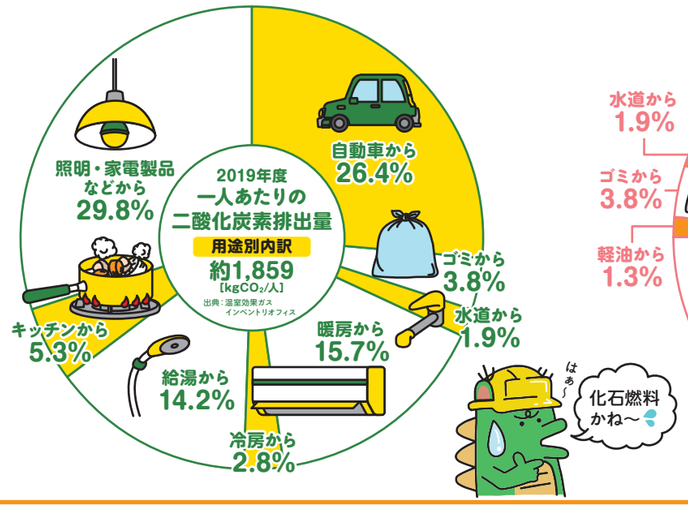
「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）に基づき気象庁において作成

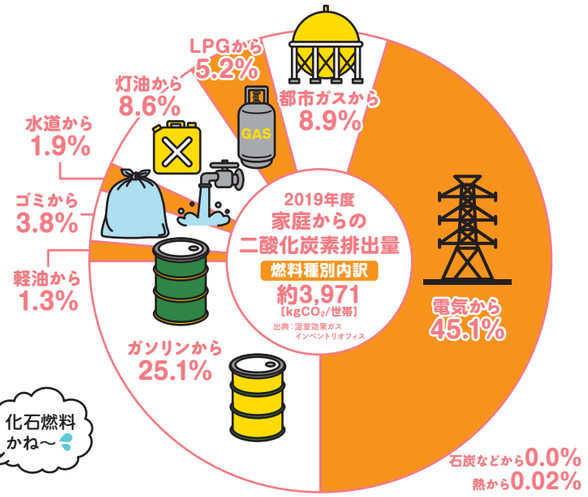
家庭用防災グッズ

避難するときは最小限の必需品で。重すぎると避難に支障が出るので、必要最低限のものをまとめ、すぐに取り出せるところに保管しておきましょう。

暮らしの中のエネルギー

便利で豊かな暮らしを支えている“自動車”や“家電製品”を動かすには、ガソリンや電気などのエネルギーが必要です。日本では、エネルギー資源のほとんどが石油・石炭などの化石燃料です。エネルギーを作るたびに二酸化炭素（CO_2）を排出し、気候変動を進行させています。





2019年度一人当たりの二酸化炭素排出量（燃料種別内訳）

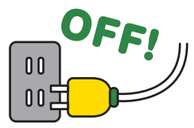
家庭でできるライフスタイルの見直し

ゴミを減らして
リサイクルに取り組もう

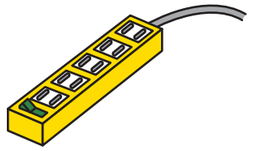
マイバッグを持って
買い物に行こう

出かけるときは、自転車や
公共交通機関を使おう

地産地消を
すすめよう



使わない時や外出時は
プラグを抜こう



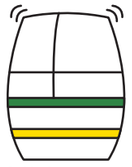
エコタップを使おう

追い炊きをしないよう
入浴は間隔をあけずに入ろう

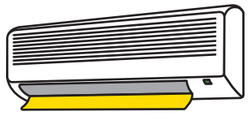
5秒の停止なら
アイドリングストップしよう

照明や家電は
必要な時だけつけよう

緑のカーテンを設置して
室内温度が上がらないようにしよう



冷蔵庫にものを
詰め込みすぎないよう



暖房は1℃低く、冷房は1℃高く
設定しよう！
フィルターはこまめに掃除しよう

暖房便座の温度は、
季節に合わせて調節しよう

ガスコンロの炎が
鍋底からはみ出さないようにしよう

節水シャワーヘッドを
使おう

同じ部屋で団らんし
冷暖房や照明などの使用を減らそう

未来のために今はじめよう

進んでいく気候変動に立ち向かうには、温室効果ガスの排出を増やさないことと減らすことが必要です **緩和**。
また、これまで経験したことのない気候変動の影響に対しそなえが必要です **適応**。

緩和　CO_2排出を減らして吸収量を増やす

CO_2排出を減らす

エネルギーを作るとき

増やすもの

減らすもの

エネルギーを使うとき

COOL CHOICE：カーボンニュートラルの実現に向けて、未来のために、今選ぼう。

https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/

CO_2を吸収する

新規植林、再植林、間伐などの
森林整備や都市緑化など

適応　気候変動への影響に対処し被害を少なくする対策

農林水産業

現状・将来予測	適応策
品質低下：コメ（白未熟粒） 収量低下：リンゴ（日焼け） その他にも様々な影響が現れています。	高温耐性品種への変更、作付け時期の調整 品質低下防止のため日よけ設置

水環境・水資源

現状・将来予測	適応策
渇水 水質悪化	節水・雨水利用などの工夫 水の循環装置などを使用した水質改善

自然生態系

現状・将来予測	適応策
サンゴ（白化現象） 希少な動植物絶滅の可能性	森林のモニタリング、野生動物の個体群管理

自然災害・沿岸域

現状・将来予測	適応策
浸水被害 土砂災害	治水安全度向上のためのハード整備 ハザードマップの確認、避難経路の確認

健康

現状・将来予測	適応策
熱中症 ヒトスジシマカが媒介するデング熱	こまめな水分補給 エアコンの適切な使用 水たまりを作らない工夫

産業・経済活動

現状・将来予測	適応策
生産設備などへの影響 レジャー・観光などへの影響	事業継続計画（BCP）の策定 災害時多言語支援

国民生活・都市生活

現状・将来予測	適応策
インフラへの影響 伝統行事などへの影響	地下鉄駅入口 止水板 地下鉄等の浸水対策 植物の開花や紅葉など生物季節の観測

発行　エコサポしまね
（公財）しまね自然と環境財団松江事務所
島根県地球温暖化防止活動推進センター
〒690-0887 島根県松江市殿町8-3
（タウンプラザしまね）2F
TEL 0852-67-3262　FAX 0852-67-3787
http://nature-sanbe.jp/eco
協力　松江地方気象台
地球に優しい竹紙を使用しています